



いきのこれ！！まなぼ一祭

～鎌ケ谷市・白井市・印西市3市合同ワカモノ防災プロジェクト～



イベント後の鎌ケ谷地区スタッフ集合写真

■協働・共創団体の種別

NPO	地縁	社協	学校・大学	企業	行政	その他
			☒			☒

■協働・共創団体

- ・千葉商科大学3市合同まなぼ一祭プロジェクト
- ・一般社団法人鎌ケ谷マネジメントラボ
- ・しろい市民まちづくりサポートセンター
- ・印西市市民活動支援センター 計4団体

■事業費 20万円

■資金調達手段 千葉商科大学助成金

事業概要

地域の最優先課題である「防災」をテーマに、地域の未来を担う子どもたちの主体的参加を促すことを目的として、単一地域での限定的な取り組みにとどまらず、近隣3市の中間支援団体が広域連携（協働）した防災イベントを実施しました。対象である小学生たちの参加意欲を高めるため、彼らに年齢が近く親しみやすい「大学生（若者）」の感性を生かした企画立案を企図し、千葉商科大学の「地域志向活動助成金制度」を活用した大学・学生との共創体制を構築しました。

協働・共創までの経緯

地域の小学生が自発的な防災行動を起こせるよう、千葉商科大学の学生が主体となって企画・運営を行い、大学と地域社会の強固な関係性を構築しました。

また、3市の中間支援団体がそれぞれの地域特性、行政・市民ネットワーク、施設資源を持ち寄り、千葉商科大学が有する知見・人材・資金（助成金制度）をコーディネートすることで、それぞれの強みを最大限に活かして協働・共創に取り組みました。

主な事業内容（年間スケジュール等）

- ① 2025年5月：大学でプロジェクト説明会～参加大学生募集
- ② 2025年6月～7月 企画会議（コンセプト、ネーミング、コンテンツ決定、チーム分け）
- ③ 2025年8月～11月 現地調査、コンテンツ制作、イベント準備、資材調達
- ④ 2025年12月 イベント本番実施

※全体会議を約6回、チーム会議・制作物作成作業など毎月定期的に実施

協働・共創団体内での役割分担

3市合同まなぼ一祭プロジェクト(千葉商科大学):

(大学)地域志向活動助成金活用承認

学生の主体性を引き出す活動をサポート

(学生)イベント全体の企画立案、コンテンツ制作、

当日の3会場の司会進行・運営を担当。

各市の中間支援団体(3団体):

行政、市民団体、市民をつなぎ活動全体をサポート

広報、集客、会場等を担当

協働・共創事業によって生まれた成果

・学生にとっては、「社会実践プロジェクトマネジメント力」を育む機会となった

・中間支援団体にとっては、「若い世代や小学生」を巻き込む、地域コミュニティ活性化の手応えを得られた。

今後力を入れていきたいこと

・ワカモノ主体の地域協働モデルの継続と発展

・広域連携を活かしたコミュニティ防災の深化

コラボのコツ!!

★コツ1★ 各組織の持つ強み・リソースの融合
学生の持つ「柔軟な企画力・行動力・ITスキル」と、中間支援団体が持つ「地域ネットワーク・施設資源・行政や市民団体との繋ぎ役としての信頼性」を掛け合わせ、関係性を構築。

★コツ2★ 丁寧なプロセス共有と定期的な合意形成

5月からの始動以降、全体会議、定期会議を密に実施。学生の「やりたいこと」を尊重しつつ、地域の実情に合わせたアドバイスを実施

★コツ3★ 行政・地域団体を巻き込むコーディネート

中間支援団体がハブとなり、行政、防災市民団体、市民を巻き込み、学生のイベントに「専門知識」の厚みを加えた。



鎌ヶ谷会場



白井会場



印西会場



集客ちらし

協働・共創事例プロフィール

【活動開始年】2025年5月 【活動のPR手法】HP、SNS、地域紙、大学広報媒体、

<https://shiroi-machisapo.roukyou.gr.jp/topics/detail/?id=274> (白井市HP)

【この事業で活用した補助金】千葉商科大学地域志向助成金制度

【問い合わせ先】担当者:渡辺 電話番号:047-401-3729 メールアドレス:shiroi-machisapo@roukyou.gr.jp